

事業報告書

1 支援団体名	デミー博士
2 事業名称	LINEスタンプを用いたダムの地名度・認知度向上
3 実施日時	令和6年5月22日～令和7年3月29日
4 実施場所	LINE アプリ上で実施
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容) 国内のLINEアプリのユーザー数は約1億人とよばれ、人口の約8割が利用し、子供から大人まで認知度・知名度の高いSNSである。さらに、災害時の緊急用の連絡手段としても活用され重要なインフラの一つといえる。一方で災害時において市民の命や暮らしを守るダムは、山奥にあることや人目につかない場所に立地することもあり、橋やトンネルなどに比べて認知度・知名度が低い土木構造物といえる。このような背景から、LINEユーザーが気軽に使いながら楽しむことができるダムスタンプを16種類製作・活用して、ダムを身近な存在に感じてもらうとともにダムの知名度・認知度を向上させることを目的としている。
	(事業実施効果) ダムの認知度をあげるためにLINEスタンプをつくる場合、以下のような広報効果が期待できます。 ・ダムに関するスタンプを使うことで、ユーザーのダムへの関心や理解が深まります。スタンプにはダムの役割や種類、ダムカードなどの情報を盛り込むことができます。 ・スタンプはユーザー間でのコミュニケーションのツールとして使われるため、口コミや共有を通じてダムの認知度が拡大します。スタンプにはダムの魅力や楽しさを表現するデザインやキャラクターを用いることで使用すればするほどダムが身近な存在になります。
6 参加内訳	総人数 60名
	(1) 主催者参加 30名
	(2) 日本人参加((1) を除く) 30名
	(3) 外国人参加((1) を除く) 0名
7 今後の方針	ダムLINEスタンプ制作は、認知度向上と関心喚起に貢献しました。今後は、利用促進と更なる理解深化を目指します。具体的には、スタンプ利用データを分析し、人気デザインや使用シーンを把握。それらを基に、新規スタンプやイベント企画に繋げます。ダムカードとの連携や、ダム周辺の観光情報発信も視野に入れ、多角的なアプローチでダムの魅力を発信し、地域活性化にも貢献します。

(Line スタンプ一覧)



(Line スタンプ(ダム式バンザイ))



(Line スタンプ(おつかレー様))



(Line スタンプ(ダムカードゲット))



(2025年3月24日 廣瀬技監に報告)



(2025年3月24日 藤巻局長に報告)

